

仙台高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	住環境計画	
科目基礎情報							
科目番号	0138			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	建築デザイン学科			対象学年	3		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材							
担当教員	相模 誓雄,坂口 大洋,祝 亜弥						
到達目標							
①日本の近代住宅の萌芽から完成までの流れがわかる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	日本の近代住宅の発展過程がわかり、伝統的住宅との違いが説明できる。			日本の近代住宅の発展過程がわかる。		日本の近代住宅の発展過程がわからない。	
評価項目2	様々な住宅デザインの手法について理解し、説明できる。			様々な住宅デザインの手法を知っている。		住宅デザインの手法がわからない。	
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	日本の近代住宅成立期においては、現代住宅の基礎となる重要な考察や実験が行われた。日本人の空間意識、住環境の洋風化、和洋の融合などについて学ぶ。 戸建住宅、集合住宅等のデザイン手法や、シェアハウスなど近年多様化する住宅の在り方について学ぶ。						
授業の進め方・方法	近代住宅：表題毎にまとめた資料やスライドを見ながら説明を受ける。グループワークを行う。予習：毎回授業の最後に出題、復習：資料配布及び質問票。						
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス				
		2週	住宅デザイン①戸建住宅のデザイン		事例を通して、戸建住宅のデザイン手法を知る。		
		3週	住宅デザイン②集合住宅のデザイン		事例を通して、集合住宅のデザイン手法を知る。		
		4週	住宅デザイン③多様化する住宅のデザイン		事例を通して、近年多様化する住宅の在り方を知る。		
		5週	近代住宅①日本人の空間意識と和洋折衷住宅		明治時代における住宅の間取りの問題点を明らかにし、どのような改善が試みられたかを知る。		
		6週	近代住宅②文化住宅と実験住宅		大正時代の住宅改良運動の目的、昭和初期において実験住宅を建てた研究者の創意がわかる。		
		7週	近代住宅③近代住宅の完成		昭和時代・第二次世界大戦までの間に建築家が建てた、インターナショナルスタイルによる住宅や、リージョナルスタイルによる住宅の空間構成の特徴がわかる。		
		8週	住宅の機能とデザイン				
	2ndQ	9週	住宅現場計画（予定）				
		10週	住宅デザインの基本手法01				
		11週	住宅デザインの基本手法02				
		12週	事例にみる集合住宅の計画				
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	計画・歴史	居住施設(例えば、独立住宅、集合住宅など)の計画について説明できる。		3	
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	100	0	0	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0